

藤棚新聞



第3号
発行
2009年2月20日
藤棚新聞運営委員会

西区は一との会 5番目の事業所

生活支援センター 西 が開所式

精神障害者を支援する「西区は一との会」が5番目の事業所である、「生活支援センター 西」を開所して、1月27日に開所式を迎えました。

当日は浜野西区長を始めとしたおよそ100名のお客さまが来られて真新しい施設は喜びに溢れました。西区は一との会の三宅理事長は、「運動を続けて6年近い。これからもみんなと横に手をつなぎながら地域の人々と力を合わせていきたい」と抱負を述べました。また、櫻庭施設長は、「支援センター職員の力の見せ所です。精神病を患ったことで上手に生きていくことが困難な人たちへの支援に、職員は全力を注ぎます」と力強く挨拶をしました。



「三宅理事長」



「櫻庭施設長(左端)と新任職員」

【住所】〒220-0055 西区浜松町3-14 横浜OTビル1階
【電話/FAX】045(252)2414

春の訪れをつげる豆まき 円満寺

2月3日は節分の日、久保町の円満寺では午後4時半過ぎから境内で豆まきが行われました。庭にはみごとな白梅が花をつけている中、境内には約三百人の家族連れなどが詰めかけました。



気になるお店シリーズ

いろや化粧品店

藤棚商店街のほぼ真ん中にあります。店構えはちょっとしゃれたレンガ作り風で、一步店内に入ると色とりどりの化粧品が棚一面にならべられています。カウンターから少し離れたところ



に爪の手入れコーナーもあります。

お店の方は「お肌の相談から人生相談・心のやすらぎまでを提案できれば」とおっしゃっていました。化粧品を売るばかりではなく、面白い商品や流行の最先端の商品をご紹介します、お客様の「嬉しい・楽しい」をモットーにしているそうです。

営業時間：10:00~19:00 火曜定休日



元久保町 餅つき

元久保町の町内会館で、1月25日に餅つきが行われました。つき手と返し手の息の合った、かつ力強い餅つきに元気もらい、つきたてのお餅を皆美味しそうに食べていました。下平会長のお話では、元久保町自治会が藤棚地区で餅つきを初めて実施したそうです。臼も一回り大きいようです。また町内会館にはりっぱな神輿も飾ってありました。



『私達は、地域もりあげ隊です！』
(岩井原中学の生徒たち)



『行くぞー！』
『よし、来いっ！』



『僕もやりたい！』
『おお、任せとけっ！』



カレー 大根おろし
あんこ きな粉
どれにしますー？！

名人・達人まつり

見て、聴いて、体験できる「第7回 西区 街の名人・達人まつり」

江戸紙切り、落語などの伝統芸能実演をはじめ、マジックショーなどの芸能・音楽、紙芝居、フェイスペイントなど子供向けのものも。昨年の参加者は、延べ1000人を超えた。今年は特に、実演や作品展示、体験講座に加えて模擬店(福祉団体やグループによるパン、クッキー、混ぜご飯や第3地区子供会による焼きおにぎり)とフリーマーケットも行われます。



【日時】2月28日(土) 10時～16時 【場所】藤棚地区センター
【お問い合わせ】西区生涯学習支援センター【電話/FAX】045(320)8396



横浜・藤棚
伊勢畜産
TEL 045-242-1129・1186
ニシニ イイニク イイハム

毎週金・土曜日 牛・豚特売日
あったか出来たて宅配弁当
藤棚名物 炭火焼豚
西区藤棚町 1-85-1

自然食品の店 菜月



(精神障害者就労支援の会 <http://saigetsu.org/>)
全国の「安全安心」な自然食品、無農薬野菜・無添加食品。配達・発送OK。水・土曜は市内の朝取り野菜を販売。

「菜月・健康フェア」参加者募集！
3.28(土)10:30～13:00 藤棚地区センター 参加費 500円 地域のくつろぎの場として今春オープンする「菜の花館」のご紹介とビワ温灸や傾聴などの体験、自然食品の軽食あり。

西区藤棚町 1-99-4 電話/FAX:045-261-1052
営業時間 10～19時(土は13時から、日曜定休)

いっしょに藤棚新聞を作りませんか。取材・写真・編集・印刷・配布をします。また、広告の掲載も募集しています。下記の藤棚新聞運営委員会にご連絡ください。

【発行】藤棚新聞運営委員会 〒220-0053 横浜市西区藤棚町 1-99-4 【電話/ファクス】045-261-1052